



野外で一度も出会ったことのない植物を探すのは、いくら図鑑で調べていったとしても見つけるのに手こずります。

一度でも出会っていると、「あの時（季節）、あの場所で（地形・地質等の環境）、あんなふうに（花をつけていたとか実がなっていたとか）生えていたなあ」という記憶が随分役に立ちます。

今年の夏は、あるラン科の植物を探すという使命を帯び、山に入る機会がありました。その植物というのは過去にたった一度、偶然に見つけたことがあるというだけのほとんどなじみのない植物で、いま一つイメージが湧きません。文献資料に目を通し、その地域の植物に詳しい先生に聞き込みし、情報収集終了いざ行かんとはばかりに現地に入り込んだのです。

しかし前もってその植物がありそうな場所を選んで踏査していたにもかかわらず、目的のブツはなかなか見つかりません。とうとう日が斜めに差し込む時刻になっても見つからず、調査時期、踏査ルートに疑問を抱きながら調査を断念しました。

実際、その植物がそこに分布していないという可能性もあります。しかし「分布している」ことを証明するのは1個体でも見つければ済むことなのですが、「分布していない」ことを証明するのは難しく、ヘタをすると調査者の努力が足りないとか能力不足ということになりかねません。さらに今度の場合は周辺地域でその植物が多数確認されて

ある日のフィールド・ノートから

「何かにおうな」

いることから、ないのはおかしいということになっているのでした。

1回目の調査から1か月ほど過ぎて、再度調査する日がやってきました。目的の植物はその年の雨の降り方など気候の影響を受けやすく、地上に姿を見せている時期は変動しやすいということから、今度こそはと現地に入りました。

しかし、またまた見つかりません。1回目に歩いたルートをもう一度歩いてみることにしました。日は真上に昇ろうかという頃、中腹の尾根で休憩することにし、腰を下ろしました。そしてふと横に目をやるとつる植物の茂みの間から、ピョロリと何かが生えているのです。飛び起きて顔を近づけました。花は既に終わって、地味な姿でありますが、まぎれもなく捜していたそれです。「なるほど、こんな所にこんな感じで生えているのか!」1個体目を見つけると同時に曇っていたレンズが急にクリアになったかのように、周辺にいくつか生育しているのを発見、その後少し離れた所にも生育箇所を見つけました。

1回目の調査時には、まだ花茎を伸ばしておらず確認できなかったのか、はたまた単なる見過ごしであっ

たのか定かではありませんが、踏査ルートはもとより、調査時期が少しずれただけで確認できないという植物も存在します。特に調査というのは、決まった時期、限られた日数といった制限された条件で行う場合が多く、それゆえに調査時期及び踏査ルートの設定次第で確認できないものもでてしまうのです。

野外を歩いていると「なにかにおうな」という感覚を覚える時があります。それは鼻が何かの臭いを感知したというものだけではありません。知識や経験からくる感覚的な勘のひらめきとも言いましょうか、敏腕刑事が犯行現場でつぶやくそれに近いものです。「こんな感じの谷にはあの植物がありそうだな」とか「今の時期、この尾根にはきっとあれが生えてるな」といった具合です。

もしいつか、この夏捜したラン科の植物を再び探すということになったなら、今回の経験を生かし、より楽に捜し出すことができることでしょう。野生の勘を取り戻すべく、視覚、嗅覚、触覚、聴覚、時には味覚を動員して、見えない探査レーダーをぐるぐる回しながら野外を歩く日々は続きます。

(本社調査室・井原寛人)

編集後記

一月も半ばを過ぎ、寒さも一段と厳しくなってきた。田舎に住んでいた頃、大雪に見舞われるということがしばしばあった。道路の除雪作業が間に合わず、唯一の交通機関であるバスが運行中止になり、いつもはバスで20分程の道のりを2時間かけてヘトヘトになりながら歩いて帰ったこともある。積もった雪を見てうんざりしては春の来る日をとても待ち遠しく思ったものだった。

寒いのは苦手だが、それでも雪のほとんど降らない東京の冬を、少し物足りなく思う。都会での四季の変化は田舎ほど豊かではないけれど、日々の中で、小さな自然にもしっかり目を留めて感動できるような豊かな心をもって暮らしたい。

(本社管理室・西邑恵子)

【発行】……………株式会社地域環境計画
編集 西邑恵子・南谷佳世
東京本社
〒154 東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDSビル
TEL 03-5450-3700 / FAX 03-5450-3701
営業窓口……………逸見一郎・西邑恵子

大阪支社
〒154 大阪府高槻市古曽部町1-1-8
TEL 0726-84-3182 / FAX 0726-84-3184
営業窓口……………中山香代子・津田洋子